

1. 授業の概要(ねらい)

この科目は、国際コミュニケーションⅠ（ドイツ語）を修了した学生（もしくはそれと同等の能力を有する学生）を対象とした科目です。Ⅰで学んだ内容をさらに発展させながら、最終的にドイツ語入門～初級レベル（独検4級～3級レベル）の到達を目指します。

授業の前半は、おもにⅠで学習した内容の復習を中心に進めていきます。Ⅰで学習した基礎的な項目を復習することで、ドイツ語の基礎を確実にすることを目指します。

授業の後半では、現在完了形など、さらに発展的な内容を学習します。動詞の過去分詞など覚える項目が増えますが、Ⅰでの基礎がしっかりしていれば、応用的な内容もスムーズに理解できるはずです。どうしても文法練習が多くなりますが、会話練習・ペアワークなども入れながら、なるべく楽しく進めていきたいと思います。

2. 授業の到達目標

目標①：最低限到達してほしい目標

- ・ドイツ語のつづりを正確な発音で読むことができる。
- ・動詞の現在人称変化や冠詞の格変化を覚えらる。
- ・日常会話の基本フレーズを使って、パートナーと簡単な会話を行うことができる。

目標②：できれば到達してほしい目標

- ・ドイツ語の文や文章をスムーズに読むことができる。
- ・動詞の人称変化や格変化を場面に応じて柔軟に変化させられる。
- ・基本フレーズを場面に応じて多様なバリエーションに変えられる。

3. 成績評価の方法および基準

- ①平常点（小テストを含む）… 約20%
- ②定期試験（中間試験・期末試験）… 約80%

4. 教科書・参考文献

教科書

清野智昭・時田伊津子・牛山さおり著 『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉コミュニケーション版 ― マルチメディア』（Ⅰと同じテキストです） 朝日出版社
独和辞典（電子辞書も可）も毎回、必ず持参してください。

5. 準備学修の内容

2点あります。

①ドイツ語の発音に慣れていただくことを重視します。したがって、準備学習としては、授業で扱った会話文（扱う予定の会話文）を繰り返し声に出して読んでくることが求められます。

②授業で扱った内容を定着させるため、文法練習問題のプリントを宿題として課します。次週までに自宅で行ってくることが求められます。

6. その他履修上の注意事項

この授業は、教養科目として初級者向けに開講されたドイツ語の授業です。したがって、外国語学部ドイツ語コースの学生は原則として履修が認められません。ただし、単位取得を要件としない受講は認められます。

7. 授業内容

【第1回】	ガイダンス Lektion 1 の復習	自己紹介 / 動詞の現在人称変化 (1)
【第2回】	Lektion 2 の復習	数表現 / 格変化(定冠詞・不定冠詞)の練習
【第3回】	Lektion 2 の復習	格変化(所有冠詞)の練習
【第4回】	Lektion 3 の復習	自分の趣味 / 動詞の現在人称変化(2)
【第5回】	Lektion 4 の復習	前置詞(3格・4格)を使った表現
【第6回】	Lektion 5 の復習	時刻表現 / 分離動詞
【第7回】	Lektion 6 の復習	助動詞 / 命令形
【第8回】	中間試験	
【第9回】	Lektion 7 ミュンヘン	道順の説明 / 前置詞(2)
【第10回】	Lektion 7 ミュンヘン	前置詞(2)の練習
【第11回】	Lektion 7 ミュンヘン	並列接続詞
【第12回】	Lektion 8 休暇の後	過去の出来事 / 3基本形
【第13回】	Lektion 8 休暇の後	過去の出来事 / 現在完了形
【第14回】	Lektion 8 休暇の後	過去の出来事 / 過去形
【第15回】	授業のまとめ・期末試験	